第5回 桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年7月1日(火) 午後2時～午後3時28分

○場 所 桐生市立梅田中学校 2階 図書室

○出席者

【桐生市学校規模等適正化梅田中学校区検討委員会】8名

委員長	小島 隆
副委員長	大根 理恵
委員	稲垣 真介
委員	窪田 樹
委員	前原 太
委員	糸井 孝夫
委員	木村 利子
委員	金井 仁史

【桐生市教育委員会】9名

《事務局》

教育部長	森 広一
教育部参事	渡邊 真宏
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文
教育部教育環境課教育未来係	若井 寿樹
教育部教育環境課教育未来係	大澤 豊

【傍聴者】 0名

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。
- ・配布資料の概要について、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	ただいま事務局から説明がありました報告事項について、ご質問がございましたら挙手をお願いいたします。
委員	資料 16 の小学校 1 年生の児童数について、お伺いします。520 人ということですが、これは当然、上記の 16 校の学校に通っている児童だと思えますが、それ以外の学校に通っている児童はどのくらいいるのでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	520 人は桐生市立小学校に通っている 1 年生の児童数ですが、桐生市立小学校以外に通っている児童数ということでしょうか。
委員	はい。
事務局 (教育環境課長)	桐生市立小学校以外に通っている児童数については、今手元に資料がございません。申し訳ございません。
委員	はい、委員長。
議長(委員長)	どうぞ。
委員	<p>桐生市の児童生徒の未来をどうするかというお話の中で、私は、教育委員会が市立の学校運営を行っていただければいい、市立以外の学校に通っている子供たちのことは考慮していないのではないのかという捉え方をしています。具体的に把握しているわけではないのですが、様々な市外の学校へ通っている方のお話等を伺っています。また、黒保根学園や、その他、特別支援学校等に通っているお子さんもいるかと思えます。そのような子供たちも含めて、全体的に考えていくのが一番であり、そもそもの出発点であり、そうしていくことが、より良い市立の学校を作っていくという話になるかと思えます。</p> <p>今日の 7 月 1 日付「広報きりゅう 7 月号」に 3 月末現在で 6 歳の方、今年小学校に入る方は 570 人の住民登録があると出ていました。570 人から 520 人を引くと 50 人です。ということは約 10 パーセント、厳密に言うと 9 パーセントぐらいが市立ではない学校に通っているということになります。そうしますと、それが 1 年生から 6 年生にまで及びます。それから中学校に進学する時にも市外の学校等に進学する人数が増えるかと思えますので、将来推計を出す際にもかなり影響が出てくるのではないかと思います。当然、今後の</p>

発言者	発言内容
	児童生徒数の把握についても、その辺のことは考慮をしていないかなと思うので、考え方が私と違い、残念だと思いました。
事務局 (教育環境課長)	ご意見ありがとうございます。即答できなくて大変申し訳ございませんでした。委員のおっしゃるとおり、桐生市の年齢別人口の6歳の人数と今年1年生の入学者数の調査から考えると、25名のお子さんが市立の小学校に入学していないことが分かります。県立の特別支援学校への就学や、市外への転出など、桐生市立小学校以外に就学するお子さんの数を考慮すると、推計値よりもさらに下がるということ、また、中学校に進学する際、私立や中等教育学校に進学する割合も考慮することが大事だと考えております。
議長(委員長)	委員、よろしいでしょうか。
委員	はい、ありがとうございます。
議長(委員長)	他に質問等ありますでしょうか。特にございませんので、次に進みます。

4 議 題

(1) 学校統合に関する検討事項について

- ・資料18に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
議長(委員長)	ただいまの説明のとおり、本日は、学校統合に関する検討事項について、委員の皆様にご協議いただきたいと思っております。はじめに、事務局の説明内容についてご質問があれば、質疑応答を行い、その後、梅田中学校区の方向性について、小学校、それから中学校の順に、委員の皆様全員のご意見をお聞きしたいと思います。 なお、本日、皆様からいただいたご意見につきましては、後日開催予定の地域協議会において、梅田中学校区の考え方として報告し、4つの中学校区で学校適正配置の方向性を協議することになります。事務局の説明について、ご質問はございますか。委員、お願いします。
委員	学校の統合の時期ですけれども、統合時期というのは、何年前に決定するのでしょうか。例えば、2年ぐらい猶予が必要だとすれば、もう今年中に決めておいた方が良くと思います。教えてください。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	統合までに要する期間ですが、今年度中に、地域協議会の協議がまとまった場合には、令和8年度に統合準備委員会を設置し、準備期間を2年と考えて、令和10年度に開校という想定で資料を作成しております。過去の事例では、統合してどこの学校にするのかを決定後、2年ほどの準備期間を要しております。
議長(委員長)	委員、どうぞ。
委員	私には理解ができないのですが、準備期間ではなく、決めるのがいつかということです。当然、決まってから通学区域も含めて準備するというので

発言者	発言内容
	<p>すね。スクールバスを運行するには、通学区域が決まらないのに想定できないと思います。東小を新しい校舎にして、東・西・南・北・梅田南小学校等、そのような学校を作るということは、非常に重要かと思います。そうしなければ、ますます市外に出て行ってしまうのではないかと思います。先行き見えない学校に、自分の大切な子供を通わせるというのは、非常に不安かと思いますし、特に、4つの小学校が一緒になるということは、今まで大人数の環境で育っている子が少ないかと思いますので、その辺も踏まえての質問です。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	<p>地域協議会で、学校の組み合わせ、統合時期、統合後に使用する校舎を決定します。決定後2年間程度、統合準備委員会において、通学区域、スクールバス、学童も含めた様々なことを準備して、令和10年度の開校を目指しております。</p>
議長(委員長)	委員、どうぞ。
委員	<p>最後に確認です。私なりに解釈をしますと、令和10年度に統合するには、来年4月には統合するという決定が出ているという解釈でよろしいですか。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	<p>今年度、地域協議会を2回行う予定であり、その中で、学校の組み合わせ、統合時期、統合後に使用する校舎を決めることができると考えております。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。他にございますか。委員、お願いします。
委員	<p>保護者の立場から、今の委員のご意見を踏まえまして、今年がとても重要な年なのだと思います。今年の進行具合で統合が1年ずれたり、2年ずれたりしてしまうので、保護者からすると正直、焦っていると言ってもおかしくないぐらい前のめりです。建設的に進めたいですし、今回このような具体案を出してくれたのは、保護者からするととてもありがたいです。できるだけここに書いてある期日どおりに進めていければ良いのかなと思います。その上で、議長の言うようにあまり前のめりすぎて、見切り発車になってはいけないとは思いますが、保護者からすると、前のめりにならざるを得ない状況にありますので、今年、より良い議論をしてこのスケジュールどおりにしていただけるとありがたいと思います。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。例えば、兄弟で、上の子が令和10年度に統合されるとなったときに、まだ下の子がいる場合等、親心としてはいろいろな心配が出てくるとは思いますけれども、その辺については、今後いろいろ調整をお願いしたいと思う次第であります。他にありますか。委員、お願いします。</p>
委員	<p>小学校の統合で、令和10年度に東小、北小、菱小、梅田南小4校が東小に統合するのは特に問題はないのですが、次の統合の際に、今いる子供たちは、東小にいる状態で、東小が増設されたりすることがあるのでしょうか。個人的には、第1回目の統合の場所が東小ではなくて、東小の次に収容可能数が多いのが北小なので、最初の統合のときに統合校を北小にして、空いている東小をそこで改修や、増設するというのはどうでしょうか。自分の子供が統</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>合した小学校に通っている間に、その統合校の改修や増設が行われるのは、何か危険であるように感じ、心配な気持ちです。令和 10 年度の開校であると、一番下の子が小学校 1 年生に上がります。児童がいない状態で東小を新しく増設して、第 2 回目の統合でそこに入る。その方が保護者としては安心であり、ありがたいと思います。その辺はどうでしょうか。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育総務課長)	<p>資料 18 にある小学校統合がケース¹となった場合は、この予定どおり、令和 10 年度に 1 回目の統合、令和 17 年度に 2 回目の統合というスケジュールで進めたいと考えております。各統合の時点の児童生徒数や学級数は、現在の東小の施設で収まる人数であり、2 回の統合スケジュールになっているため、開校に合わせて大規模な改装については、準備を進めていきますので、現時点においては、建物を増築することや建て替えというのではなく、既存建物の改修ということで考えております。学校の授業に支障がないような状態のスケジュールで改修、また受け入れ準備等をしていくように考えております。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>先ほどの話ですが、人数がみるみる減少しているので、新しい校舎を造るという話にはならないと思います。減少していなければ、そのような考え方もあるかもしれませんが、桐生市全体で一つの学年が 300 人台程度になることを考えると、現在ある校舎、教室が不要となる状況です。改修というのはあると思いますが、新しい建物を建てるという考え方はできないと思います。そのようなことを教育委員会で行うとしたら、また、今新聞で出ているような話になってしまうのではないかと思います。人数がとにかく減っているということを念頭に置いてもらわないといけないと思います。</p>
議長(委員長)	<p>他にご意見はありますでしょうか。特にないようですので、資料 18 の 6 ページから 8 ページをご覧ください、小学校の方向性について、これから全ての委員の皆様のご意見を順次お伺いしたいと思います。具体的には、総合方法について先ほどのケース¹、ケース²、ケース³のどの方法が良いか、あるいは別の方法等ございましたらお願いいたします。</p> <p>なお、他の委員のご意見をお聞きし、ご質問やご意見がございましたら全ての委員の皆様のご意見をいただいた後をお願いします。委員から順に、お願いします。</p>
委員	梅田南小としては、学校数のバランスとして一番良いのはケース ¹ が良いのではないかなと思います。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>意見と言いますか、参考になればと思い、お話をさせていただきます。統合後の学校の子供の人数、通学の距離を考えていかなければいけないのかなというのが一つです。人数の方ではどこが良いというのは何とも言えないところですが、うまくバランスよくできるようになれば良いと思っています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>また、先ほど統合までにかかる準備期間の話がありましたが、私の過去の経験を参考までにお話しさせていただければと思います。私がかつて南小に勤めていたときに、昭和小と統合しました。南小から昭和小に転勤して、その昭和小の子供たちを連れて南小に戻ってきました。そのとき私は教務主任という立場でしたが、統合の形によって準備期間が異なってきます。どちらか一方が中心になり統合となった場合、それほど時間はかからずに済むように思います。例えば、教育課程の編成、子供たちのスムーズな受け入れ、統合後の交流の仕方などを2年間ぐらいの準備期間でできたかなと思います。</p> <p>それに対して、新しい学校を創るとなると、2年という期間だと難しくなるように思います。例えば、学校名を変えるとすると、当然学校名を決めなくてはならない、校歌を決めなくてはならない、校章を決めなくてはならないので、統合の仕方も含めて検討していく必要もあると思いました。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>先ほどから説明をいただいている中で、梅田南小の単学級を改善、複式学級を回避できるという言葉がたくさん出てきたかと思います。現状、1年生が9名、2年生8名ということで、学校規模の課題というところに出ていた、クラス替えができない状態です。学校長としては、たくさんの人と交流し、多様な考えに触れるといった機会は広げてあげたいなという思いがあります。</p> <p>ケース①、②、③と例が出ていますが、一概に今の段階でどれと言うのは難しいと思います。小学校の場合は、1年生から6年生までいるので、通学距離が低学年には負担とならないような距離が良いと考えます。</p> <p>また、教育課程のこともあります。自分も同じ時期に南小に務めていたので統合を経験はしているのですが、統合の際には、教育課程を検討するなど準備に時間を要するので、統合の仕方については、統合で配慮すべき事項を一つ一つ照らし合わせ、どのケースが良いのか検討していく必要もあるのかなと感じております。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>小学校低学年のことを考えると、ケース②が良いかと思います。小さい子供のことを考えると、いくらスクールバスが出て、このケースの方が良いかなと思います。</p> <p>また、先ほどから学校の名前について出ていますが、どの場合でも、最終的には小学校が東小になるわけですが、東小の名前を使うかどうかによって、東小に全部吸収されていくというイメージになると思います。今から2年後というのは無理だと思いますが、10年後ぐらいで学校の名前や校歌も新しくしていく方が良いかと思います。おそらく様々な意見があるかと思います。そういったことも考慮に入れてもらえたら良いのではないかと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。

発言者	発言内容
委員	<p>確認ですが、ケース①とケース②というのは、梅田南小だけのことを考えれば同じです。ですからケース①や②というのは判断できません。他の中学校区の選択を私がとやかく言う筋合いはないと思いますので、ケース①か②のどちらでも良いかと思います。それで、場所は東小ということで、当然新しい校名ができて、新しい校歌等、そのようなものも全部新しくなるのかなというように私は理解しております。銀行ではないですけど東・西・菱・梅田南小学校のように、全て合わせても良いと思います。</p> <p>また、10年後、令和17年度に最終的な統合をするということですが、今の人口の状況、出生数等を見ますと、令和10年度になってから、再度考えれば良いと思います。昨年1年間に生まれたお子さんが295人です。どう見ても、桐生市の環境では、何か特別なことが起きない限りこれから増えていく要素は、今はないと思いますので、子供さんの数はますます少なくなっていくと思います。統合が前倒しになる可能性は十分考えられます。結論としましては、ケース①、②のいずれかということをお願いしたいと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>先ほどの意見のように、ケース①や②でも梅田南小としては同じなので、私もどちらでも良いかとは思いますが、ケース③に関しては、再統合が令和20年度なので再統合をするのはもっと早い方が子供たちにとって良いのかなと思うため、ケース③ではない方が良いと思います。ケース①でも②でもどちらでも良いかなと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>梅田南小にとっては、①から③のケースどこを選んででも統合校は東小です。特に、保護者の立場からすると変わらないのですが、先ほどの校長先生方のお話で、統合の仕方によって、統合準備期間の時間が変わるという貴重なお話がありました。例えば、令和10年度統合のケース①だとして、仮にこの時点で新しい学校になるということになった場合、校名を決めるために統合するのが令和10年度では、少し間に合わないということになるのでしょうか。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	<p>今年度の地域協議会で結論が出た場合、来年度、統合準備委員会を設置することになり、その中で話し合っていて決めていければと考えています。委員のおっしゃるように、統合の仕方によって、要する期間は異なると思います。2年間の準備期間で、できるだけ早く子供たちにとってより良い教育環境にしてあげることができればと考えております。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>ありがとうございます。柔軟に考えていただけるということなので、梅田南小の立場からすると、中学校の対応を含めて梅田地区はどのケースでも良いのかと思います。ただ、ケース③では再統合が先なので、もし校名が変わることで、令和10年度の統合が遅れるというのであれば、最初のこの統合で</p>

発言者	発言内容
	<p>は、校名は東小でも良いかと思えます。</p> <p>また、令和 16 年度、17 年度からの再統合の際に、新しい校名というような考え方をすれば、この 7 年間でいろいろ準備ができるので、その方が良いかと思えます。令和 10 年度にスタートがしたいという意見です。</p>
議長(委員長)	<p>どうもありがとうございました。個人的な意見を一応述べさせていただきます。私としては、ケース[1]が一番良いのではないかと思えます。しかし、西小、南小、境野小が統合する場合、距離的にどうなのかと思えます。</p> <p>ケース[2]は、どうしても 2 回目の統合のときに 2 つの統合校と境野小というふうに、少数派ができ、心配な感じがします。東小、北小、梅田南小、菱小や、西小、南小は 1 回統合を経験してから、2 回目の統合になります。それに対して、境野小は単独できて、令和 17 年度に統合する際に、何となく統合組と単独組みたいな色付けができてしまうような気がします。ケース[2]は少し問題があると思えます。だから私としてはケース[1]を推薦する次第であります。</p> <p>これで一通り委員の皆さんからご意見をお聞きいたしました。ご意見がございましたらお願いいたします。特によろしいでしょうか。そうすると、委員の皆さんのご意見を集計しますと、ケース[3]はいませんでした。それから、ケース[1]が私も含めて 2、3 名、それ以外はケース[1]かケース[2]のどちらでも良いということに今のところなっていますが、そのような結論でよろしいでしょうか。委員、お願いします。</p>
委員	<p>それは梅田中学校区としてだけで考えるのか、渡良瀬川の左岸全部で考えるのか、そのような質問の仕方をしないと、このような結論になってしまうのではないのでしょうか。この検討委員会は、梅田中学校区のことだけを考えるのであれば、先ほどの意見にあったようにどちらでも同じです。私は他の中学校区までのことを考慮して先ほど発言しましたが、梅田中学校区のことだけを考えるのであれば、どれも同じところに行くことになるため同じです。ですので、その考え方は委員長が決めることではないかと思えます。</p>
議長(委員長)	<p>分かりました。事務局にお尋ねしますが、今日の協議がまとまったかどうかということに関しては、ケース[1]からケース[2]のどちらでも良いということでもよろしいでしょうか。</p>
事務局 (教育環境課長)	<p>梅田中学校区では、このような意見が出たということをもとめていただければ良いかと思えます。</p>
議長(委員長)	<p>それでは、小学校の場合、特別なことがない限り、ケース[3]はないということで、ケース[1]と[2]のどちらでも良いという結論でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>【了 承】</p>
議長(委員長)	<p>そういうことで、小学校の場合については、一応了解をいただきました。</p> <p>それでは、次に中学校の方向性について、資料 18 の 9 ページから 10 ページです。中学校については、小学校のケース[1]、[2]で統合した場合は、9 ページの中学校のケース[1]になりますが、再度、委員から順に、一通りご意見</p>

発 言 者	発 言 内 容
	をお聞きしたいと思いますのでよろしくお願いします。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	小学校の方向性がケース①だったので、そのまま中学校もケース①に賛成したいと思います。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>簡単に中学校の現状をご説明させていただければと思います。各学年 15 人ずつ程度で全校生徒が 47 名になっています。現在 3 学年あり、落ち着いた雰囲気です。とても良い環境の中で、子供たちは一生懸命頑張っているという状況です。</p> <p>一番の課題は部活動です。3 学年合わせると、ある程度チーム活動はできます。現在、4 つの部活動がありますが、3 学年と一緒に活動できるのは、1 年間で 2 か月間しかありません。4 月は仮入部期間で、6 月に市の総体が早まりましたので、現在、3 年生はすでに部活を引退している状態です。ですので、一緒に活動できるのは 5 月、6 月しかありません。残りの 10 か月間は 1 年生と 2 年生で活動するという状況です。その活動状況も本当にギリギリです。例えば、ソフトテニス部は 1、2 年生合わせて 3 人しかいません。女子バレー部は 5 人で、1 チーム作れないので、川内中と合同チームを作ろうというような話になっています。バスケット部の男子は 7 人で、やっと 1 チームできます。卓球部も男子 6 人で団体戦は 6 人なのでやっとチームができます。そういう状況なので、本当にぎりぎりのところで活動している状況です。</p> <p>このまま減少していくと、学校生活の中にも問題が出てくるのかなと思います。例えば、今 1 クラス 15 人いますけれども、例えば 10 人を切るような状況になると、授業の中で多様な意見交換ができなくなってしまいます。また、様々な特別活動、委員会活動の中で自主的な活動ができなくなってくるように思います。</p> <p>このため、学校長としては、ある程度の規模で、適切な学習環境の中で子供たちに学校生活を過ごしてもらえるのが、一番望むところです。そういったことを考えると、ケースとしては、先ほど小学校がケース①またはケース②ということでお話がありましたので、中学校はケース①という形でいくのが適切ではないかと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>先ほど小学校の方で、ケース①、ケース②というお話があったので、中学校はケース①でいくのが自然なのかなと感じています。</p> <p>先ほど、部活動の話が出ましたが、6 年生が今から中学校には何部があるのかというようなことはよく言っています。統合によって部活動の選択の幅が広がるのは、すごく大切なことと感じています。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	小学校でケース①、②となったということは、ケースとすれば中学校はケース①ということだと思います。

発 言 者	発 言 内 容
	<p>また、先ほどから言われている子供の人数ですが、以前、自分で調べましたが、渡良瀬川左岸でいうと、0歳児が96人しかいなくて、1歳児が113人、2歳児が127人です。渡良瀬川左岸でそれだけしかないわけです。そこから何人かは、私立などに行くと、校舎や教室数というのは推して知るべしということを併せて言っておきたいと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>普通に今の清流中と一緒にするのが良いのではないかと思います。梅田中学校区の検討委員会の委員としては、そういうお答えをさせていただきたいと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	<p>小学校がケース¹でもケース²でも結局同じことなので、中学校はケース¹で大丈夫だと思います。</p>
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	私もケース ¹ を希望いたします。
議長(委員長)	<p>私も一応、中学校の場合はケース¹が適切ではないかと思います。ただし、この会議で議論する内容ではないかと思いますが、先ほど学校の名前というのがありました。私は、中央中という名前に違和感があります。なぜかという、桐生市の中で、中央という、そこが中央で、それ以外と受け取れてしまいます。中央中以外は中央ではない学校となってしまいます。また、将来的に桐生市とみどり市が合併した場合に、その中の中央の学校ということになるのでさらにおかしくなります。今、この場で議論することではないのですが、一応意見としては述べておきます。</p> <p>全体的なことでお聞きしましたけれども、一通りお聞きした中で、委員の皆さんのご意見に追加のご意見があればお聞きしたいと思います。よろしいでしょうか。そうすると、中学校の場合にはケース¹ということで承認されたということで、事務局にはよろしく願いいたします。</p> <p>今の内容については、これから地域協議会に舞台を移していくにあたり、小学校の場合はケース¹か²、中学校の場合はケース¹ということでよろしいでしょうか。</p>
委員	【了 承】
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。それでは、事務局の方に小学校についてはケース¹か²、中学校についてはケース¹ということで、今後、地域協議会で報告して、他の中学校区の考え方をお聞きしながら、さらに協議をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>また、地域協議会での協議状況などを基に、改めて、梅田中学校区としての考え方を協議したり、確認したりするための機会を作りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の協議事項は以上になります。ありがとうございました。その他全体的なことを通じてご意見等ありましたらお願いいたします。特にございませ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	んか。 それでは、本日予定しておりました議事は以上になりますので、ここで議長 長の任を解かせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

5 その他

6 閉 会 [終了：午後 3 時 28 分]